



西川動物病院 43-0200

文責：看護師 古賀

このたびの東日本大震災により
被災された皆様に、お見舞い申し上げます。
皆様の安全と被災地の日でも早い復興をお祈り申し上げます。
いつ、災害にあうか分かりませんのでその時に備えて!!
今回のテーマは『ペットの防災』です。

災害時に大切なペットを守れますか？

いつ起こるか分からない突然の災害は人間の生活に大きな爪痕を残し、
そしてその傷は同じようにペット達にも襲いかかります。

飼い主さんと一緒に避難できず、取り残されてしまったり

避難所で一緒に生活することができずに離れ離れになったり

ストレスから食事を口にできなかったり体調不良を起こし病気にかかったり

持病が悪化したりするペットもいるでしょう。

また、大切なペットと離れて生活はしたくないという思いから車の中で生活を送る方もいらっしゃいます。

ライフラインが止まってしまい、人間の水や食事の確保もままならない中で

ペットの水や食事の確保はかなり難しいです。

なので、**1週間以上の水・食事の用意は必要**ではないでしょうか。



大切なペットを守れるのは飼い主さんしかいません。

いつ震災が起きるか分からないので飼い主さん自信が日ごろから

災害に対して心構えしておくことが大切です。



いざという時の為に!! 備えあれば憂いなし!

〈日頃からの準備〉

ワクチンの予防接種……1匹が病気をもっているとあっという間に感染が広まってしまいますし、
災害時は不衛生な環境で病気にかかりやすくなります。

ノミ・ダニ予防……避難所や保護された場合、感染症と同様あっという間に広がってしまいます。
避難している方にまで迷惑をかけない様に予防しておきましょう。

飼育環境のチェック……飼っている周りに落下物や倒れてくるものが無いか、
またガラスが割れて落ちてこないかなどチェックしてみてください。

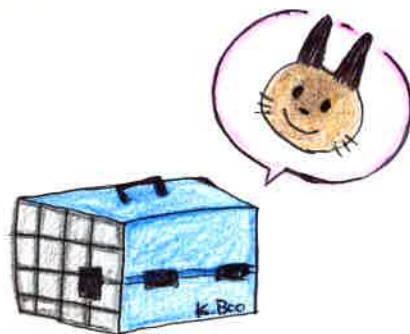
《備えておきたいもの》

最低1週間以上のフードとお水

災害時には、人間用の食事でも滞りがちになります。
そんな中、ペット用の食事の確保は難しいので必ず準備しておきましょう。
1日にどれくらい必要かを調べた上で、**食べ慣れていて、**
保存のきくペットフードと飲水を簡易食器とともに準備しておきましょう。
食事が変わって嘔吐下痢をしてしまう場合もありますので
普段から食べならしておきましょう。

移送用具(ハードキャリー又はキャリーバックなど)

避難所生活や移送する際に必要です。
安全に移送できる用具を1匹につき1つ準備しておきましょう。
避難所ではその中で生活をしなければならいかもしれません。
そのために普段から慣らせておくようにしましょう。
いつも使っている毛布やタオルなどあれば少し安心するかもしれませんね。



迷子札や狂犬病の鑑札・済票・マイクロチップ

鑑札・済票は迷子札変わりにもなりますので、首輪に付けておきましょう。
万が一どこかで迷子になってしまい、保護されたら
鑑札や済票の番号でどこの誰のわんちゃんか、すぐ分かります。
離れ離れになってもすぐに見つかるように
飼い主さんの連絡先を記入しておきましょう。
犬・猫以外の小動物は名札を付けられないので、
日頃使用しているケージ等に飼い主名と連絡先を記入しておきましょう。



首輪やリード

避難所に入れず、外につないでおく場合もあります。

常備薬と緊急用具

災害の時はガラスを踏んだり、倒れてきた塀やタンス等にぶつかったりして
ペットも怪我をしてしまう可能性があります。
ペットの怪我に備えて、消毒薬やガーゼ、包帯など
応急処置ができるくらいのペット用緊急用品を準備しておきましょう。
持病のあるペットは常備薬を用意しておくことも忘れずに。



その他

排泄物を入れるビニール袋やスコップ、消臭スプレーなど
避難所を汚さないためのペットシートなどがあると便利です。
また、オムツを利用するのも良いでしょう。
古新聞やトイレットペーパー、ペーパータオル、ゴミ袋や飼い主の匂いの付いている古着など
バスタオルなども必要です。汚れたり濡れたりした時や防寒にも役立ちます。